

町の小さな二つの自慢

◎中野緑団地自治会長 佐々木 輝美

人口減少が続いている中で、嘉川地区は人気の地区になっている様で新築がどんどん増えています。その中、我が緑団地は平成4年に誕生し、現在35軒の小さな自治会です。場所は山陽本線嘉川駅の真裏で、下中野の中に間借りしている感じです。

そんな小さな団地ですが、自慢できる事が二つあります。一つは桜です。団地には小さな二つの公園がありますが、四本の桜が見事に毎年咲いてくれます。そしてもう一つは、元気な子ども達です。学校が終わった夕方や休日には、外で遊ぶ声がよく聞こえてきます。私にはなぜかなつかしく感じられ、ほっとしています。春と秋の町内清掃にもたくさんの子ども達がお手伝いしてくれます。

そんな子どもと有志の皆さんで、もう一つの公園に花壇を作りました。大人と子どもと一緒に世話をしていますが、また町内の絆が深まった感じがします。



今津山の麓の小さな自治会

◎今津ヶ丘自治会長 金子 寛

今津ヶ丘自治会は、興進小学校の南横、今津山の麓に位置し、33世帯で構成されています。朝夕や日中は、通学路や運動場から聞こえる子ども達の声で元気をもらえています。

30年くらい前に開発分譲されて出来たようで、嘉川地区では比較的新しいのではないのでしょうか。元々は石切り場があったようで、団地の上部には大きな石垣が数か所残っています。

『ふるさと嘉川の史跡。遺跡』に載るような名所はありません。この度、前会長と地主さんとの調整により、市道横の法面の樹木枝の伐採を行いました。これにより崩落リスクも減り、通学に利用する児童の安全にも寄与でき、落ち葉も減ることで環境美化にも役立つことができました。これからの地区の発展に少しでも貢献できればと思います。



編集後記

山口市地域別の人口・世帯数増加率ベスト5

増加率は2020/10/1確定値との比較、順位は人口増加率順

順位	地域	2025/10/1集計値		増加率 (%)	
		人口	世帯数	人口	世帯数
1	嘉川	6,982	2,874	5.6	8.3
2	平川	21,191	12,318	2.2	6.5
5	白石	10,685	4,972	2.1	5.8
4	阿知須	9,389	3,858	1.7	8.3
5	大蔵	14,109	7,124	1.3	6.5
他16地域(*)		128,082	58,811	△ 3.7	1.5
山口市合計		190,438	89,957	△ 1.8	3.3

(*) 大蔵、湯田、仁保、小幡、大内、宮野、吉敷、陶、錦銭司、名田島、秋穂二島、佐山、小郡、秋穂、徳地、阿東

令和2年の国勢調査結果を受けて、自治連だより23号(5年前)に、「嘉川の世帯数増加率は山口市21地域中3位で、前回の15位から大躍進。調査日以降も次々と住宅が建てられているので、次回の国勢調査が待ち遠しい」旨を記載しました。

あれから5年、令和7年国勢調査結果の最新データは左表のとおりです。期待にたがわず世帯数、人口増加率とも嘉川がトップで、今なお嘉川の人気の高さが窺われます。

嘉川のキャチフレーズ「住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし」を更に実感できるよう、今後は数だけではなく、地域活動の質の向上を目指したいものです。

かがわ

自治連だより

●山地 ●農地
●住宅街 ●海岸



住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし

2026年(令和8年)

9月1日

Vol.33

発行:嘉川自治連合会

編集:広報委員会



令和8年度の自治連活動方針・・・2・3
令和7年度決算及び8年度予算・・・4
サークル活動に参加して・・・5
いきいきサロン紹介・・・5
地域では今・・・6
ふるさと嘉川への私の思い・・・7
私の自治会は・・・8

第1回「嘉川夏祭り」を開催 令和8年8月8日(土)

2千名を超える地区の皆さんが参加し、屋台、しゃぼん玉ショー、氷早食い競争、水かけ祭り、ゲームコーナー、もちまき、福引、盆踊りなどを楽しまれました。地区の行事として次年度以降も継承されることを期待しています。

〒754-0897 山口市嘉川4651-1
山口市嘉川地域交流センター内
TEL/FAX:083-989-3956 Mail:info@kagawaj.com



ホームページを活用しましょう

パソコンやスマートフォンでご覧ください。

<https://www.kagawaj.com/>



かがわの
レノ丸くん

ひとづくり部会

◎部会長 落合 敏行

健やかで健康長寿な嘉川を！

部会では、①すこやか子ども未来 ②みんなで健康長寿 ③楽しい健康ライフ ④がんばる人づくり、以上4つを柱に活動に取り組んでいます。

具体的には、乳幼児や児童・生徒など、地域内の全ての子どもを対象に、健やかな嘉川っ子の育成を目指しています。乳幼児を対象とした“子ども館しゅっぱぽ”、小学生の通学時の見守り、中学生を対象とした“命の学習”や小学生対象の“夏休みのふるさと学習”などに運営費や活動費を支援します。

また、自治会活動として取り組まれる高齢者対象の“健康相談”や“いきいきサロン”活動に資金面で支援し、健康長寿を目指します。

地域のウォーキングや体操などの健康づくりサークルへの活動費支援やサークル団体への各種スポーツ用品の貸出しなどを通じて、地区住民の健康づくり対策に取り組めます。

部会独自の活動として、高見公民館周辺や東本郷里山でのウォーキングなど、年5回の“嘉川元気あっぷチャレンジ”を実施します。

この他には、地域に貢献する活動を行うボランティア団体を“がんばる組織”として認定し、活動費の一部を支援します。

皆さん一人ひとりが、何かのサークルに属し、活動に参加することで人と人との結び付きや生き甲斐が生まれ、心も豊かになり、健康で安心・安全に暮らせる嘉川地域を目指します。皆さんの参加と協力をお願いします。



環境づくり部会

◎部会長 深野 幸生

花いっぱい運動

自治連では「まちじゅう花いっぱい運動」という取組で、春と秋に花の苗を配布しています。5月と11月に交流センターにて各自治会・子ども会等に花の苗を配布

住みたいね。嘉川

嘉川の魅力を活かした 元気

令和8年度

し、子ども会活動の向上や、青少年の健全育成に寄与しています。今ではシニアクラブも参加されています。今年5月に7種類合計1500本余りを配布、ポーチュラカ、マリーゴールド、サルビア等に人気がありました。

JR嘉川駅でも18個のプランターの植替えをしました。暑い夏の水やり草引き等大変でしたが、今ではプランターに立派に花を咲かせています。苦勞の甲斐があり感謝感謝、みんなの心が癒やされます。

今年も11月末の日曜日に「嘉川清掃の日」を設けて国道2号沿いの3ヶ所で清掃活動を実施します。

「ゴミのないきれいで住みやすい町づくり」を目指し、環境づくりを機会に皆の意識が高まり、親睦も深まることを願っています。



安全づくり部会

◎部会長 秋本 武美

交通弱者の移動手段を確保

江崎東地区を主体にコミタクを運行しています。このことをあまりご存じない方のご紹介しましょう。

コミタクは、相原、高見、向原、原、上中野、福岡、中市、市、上嘉川、稽古屋、矢広団地の各地区を通り、みやび歯科クリニック、たむら医院、やすもと歯科、小川整形外科、山口嘉川クリニックの医療機関を巡り、地域交流センター、嘉川郵便局、スーパーまるき、嘉川駅、嘉泉荘へも行けます。

運行は、月・水・金曜日の1日4便で、運転ができない方や運転に不安を感じる方に、生活に必要な買い物や通院をはじめ、地域交流センターでの行事参加等にご利用いただいています。高齢者や障がい者への割引や優待もあります。地域の交通弱者のために、18年前に誕生した地域の皆さんのための交通手段です。

その他、駅やバス停から遠い高齢者のために、割引

ひとよし ものよし ところよし

で楽しく 住みたいまちづくり

活動方針

のあるグループタクシーもありますので、詳しくは地域交流センターへお尋ね願います。

今回はコミタクに焦点をあてて説明しましたが、皆さんの要望を聞いて公共インフラ整備もすすめていきます。



まちづくり部会

◎部会長 松崎 志郎

地域をつなぐ交流イベントの実施と 様々な媒体を活用した情報提供をします!!

・嘉川夏祭り、嘉川子どもみこしなどのふれあい交流 第1回嘉川夏祭りが8月8日に開催されました。世代を超えた交流イベントで地域がつながりました。嘉川子どもみこしは、地域の文化・行事を体験し楽しんでもらいます。今年9月13日に実施しますのでご声援願います。

・特産品づくりを通しての嘉川らしいまちづくり



嘉川の地酒「嘉穂の郷」づくりは17周年を迎えました。今年度の田植え体験は6月21日に実施し、曇りがちの天気でしたが、参加者(220名)が田植え体験や鮎のつかみどりなどの参加型イベントにチャレンジしました。秋には稲刈り体験、酒蔵見学会、祈願酒販売

などのイベントで地酒への愛着を深めていただきます。

また、地域の酒粕・米粉を使ったお菓子の普及も行います。奇数月の土曜日に開催されるKagawa Marketで販売します。さらに小・中学校の食育活動の中で地域の食材などへの関心を高めていきます。

・多数の媒体を通して嘉川のすばらしさを発信

「かがわ自治連だより」を年2回(9月・3月)発行します。嘉川自治連ホームページのブログに様々な情報を発信し充実を図ります。

また、第8回「嘉川のいいところ見つけちゃろ」写真コンテストを実施し、応募作品を活用した嘉川CALENDARを制作して嘉川のすばらしさを再発見してもらいます。

自主防災本部

◎副本部長 小池 誠一

みんなで安心防災 みんなで命を守りましょう

今年も大雨、台風の季節になりました。今年は、台風の発生数が平年を上回る28個前後と多く、日本への接近数も増えて大型化すると予想されています。注意が必要です。

大雨や台風により、警戒レベル4の避難指示が発令され、危険を感じたら、まずは指定避難所の地域交流センターに、状況に応じて川西中学校、嘉川小学校、興進小学校へ避難しましょう。防災本部では、避難所運営に関する準備や訓練を行い、災害時に備えています。

避難所には防災備蓄品を計画的に購入整備しています。交流センターの他に川西中学校や興進小学校にも防災倉庫を設置し備蓄品を配備していますが、何もかもあるわけではありません。

避難する時は、1～2日分の食料等の生活用品と現金(小銭)、身分証明書、マイナンバーカード、キャッシュカード、印鑑、そして常備薬・お薬手帳をお忘れなくお持ちください。

家庭や地区で災害に備えること、発生した場合は地域全体で助け合うことが大切です。皆さんのご協力をよろしくお願いします。



嘉川自治連合会 令和7年度決算及び令和8年度予算

【収入の部】		単位 (円)	
費 目	令和7年度決算	令和8年度予算	摘 要
地域づくり交付金	8,332,000	8,332,000	
土木工事交付金	4,456,000	4,456,000	
助 成 金 等	250,000	250,000	地区社会福祉協議会助成金
繰 越 金	412,218	593,366	
会 費 収 入	480,000	480,000	会費 1 戸 2 0 0 円
雑 収 入	13,561	13,634	
合 計	13,943,779	14,125,000	

【支出の部】		単位 (円)		
事業名		令和7年度決算	令和8年度予算	摘要
事務運営費		5,114,251	5,114,250	事務局人件費、事務費、消耗品等
ひとこころ	すこやか子ども未来	277,747	240,000	子育て支援、児童見守り、世代間交流学習の活動支援
	みんなで健康長寿	220,000	220,000	いきいきサロン及び老人クラブの支援、健康相談の実施
	楽しい健康ライフ	182,817	180,000	元気あっぷチャレンジ、生涯スポーツ支援、健康活動支援
	がんばる人づくり	149,950	140,000	ボランティア組織等の支援、人材育成
もの	美しい環境づくり	785,739	820,000	花いっぱい運動、本郷里山づくり、地域の清掃活動等
	みんなで安心防災	587,321	360,000	自主防災組織支援、防災研修・訓練、小中学生防災学習、防災備品整備等
	優しい交通ネット	24,920	90,000	コミタク利用促進、交通安全施設整備
	公共インフラ整備	4,456,000	4,456,000	法定外公共物等整備
やう	ふれあい交流	264,937	390,000	ふれあいわくわくウォーキング、謎解きアドベンチャー、写真コンテスト、子どもみこし等
	歴史文化の伝承	50,800	70,000	文化遺産維持管理等
	嘉川らしいまちづくり	364,970	360,000	嘉穂の郷酒米づくり体験、特産品開発
	嘉川の情報発信	570,799	610,000	広報紙発行、ホームページの運用管理、「住みたいね嘉川」DVDの活用
小計		13,050,251	13,050,250	
活動運営費		300,162	1,074,750	会議費、部会活動費、地域活動費等
合計		13,350,413	14,125,000	

令和7年度収支決算額 収入額 13,943,779円 支出額 13,350,413円 次年度繰越額 593,366円

サークル活動に参加して

嘉川バスケット同好会

◎上 結菜(嘉川小学校6年)

嘉川バスケット同好会は、毎週土曜日に興進小学校の体育館で練習をしています。私のお父さんがコーチをしていて、今は35人の小学生が習いに来て、みんなで楽しくバスケットをしています。

私は、小学2年生で嘉川バスケット同好会に入り、バスケットを始めました。始めたばかりの時は、なかなか上手くできず涙が出ることもありましたが、シュートやドリブルなどたくさん練習をして、今では試合で活躍できるようになりました。持久力もつき、あいさつなどの礼儀も身につきました。低学年のお友達に、教えてあげることもできるようになりました。

バスケットが上手になるのも嬉しいけれど、私が嘉川バスケット同好会に入って一番よかったと思う



ことは、嘉川小・興進小・佐山小など、いろんな小学校のお友達ができたことです。バスケットはチームプレーなので、仲間でパスをつないでシュートが決まった時は、最高の気持ちになります。私は6年生なので、2年生で入ったバスケット同好会も、いよいよ最後の一年になります。このままバスケットの練習を頑張り、川西中学校に行っても、このメンバーと一緒にバスケットがしたいです！

いきいきサロン紹介

ふく福サロン

◎本間 和江(福岡)

私たち福岡自治会では、サロンの名前を「ふく福サロン」と名付け活動しています。平成11年11月に立ち上げ、年2回から始めて現在は毎月第3金曜日に開催しています。

コロナ禍になる前までは、春は講師などを招いて教養日？に、夏はソーメン流しをして3世代交流を楽しみ、秋には敬老会を開催して出演者共々賑やかに楽しみました。

昨年の12月に久しぶりの遠出をして、下関市の水族館「海響館」に行きました。山口市のマイクロバスいっぱいの大盛況で、日頃聞くような「年をとったからたいぎな」「デイサービスに行くから欠席」などの声は聞こえず、「また行こうね」「楽しかったね」と笑顔で解散しました。

毎年夏には3世代交流を目的としたイベントを



行っています。夏休みに子どもたちとカレーライス作りやゲームで楽しくひと時を過ごせるようにと計画しています。

また、12月には福岡の老人クラブ「福和会」にも協力してもらって、しめ縄作りに挑戦しようと準備中です。

毎月のサロンでは、折り紙で季節の行事を取り入れた作品作りや編み物での小物作りを楽しんでいます。手も動きますが口の方も大忙しのサロン開催日です。先日のサロンでは七夕祭り用の飾りを作り、笹の葉に飾って持ち帰りました。

今年もサロンの立ち上げをした当時のように、賑やかなサロンが開催されるようにとスタッフ一同張り切っています。



地域では今...

川西地域クラブが始まります!

◎吉村 浩彦(川西地域クラブコーディネーター)

山口市では、9月から部活動が中学校区単位の地域クラブへ変わります。

これまで、学校部活動は学校教育の一環として、生徒のスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保し、自主的で多様な学びの場としての教育的意義を担ってきました。しかしながら、昨今の少子化の進展や学校の働き方改革等の全国的な社会情勢の変化により、同様の体制で学校部活動を運営することが難しくなってきたことから、国等の方針に基づき、将来に渡り生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するため、地域クラブを設置するものです。

川西地域では、男女ソフトテニス、男子卓球、サッカーの3競技種目の地域クラブが設置され、他校区生徒を含め70名近くが参加する見込みです。一方で軟式野球やバスケットボール等自校区に希望する競技・種目が設置されない場合、近隣他校区の地域クラブへも参加が可能です。また、地域クラブは設置されないものの、女子バレーボールは民間クラブである川西排球運動部として、音楽は川西有志合唱団として活動を継続されます。

さて、この記事が掲載される9月には地域クラブが市内一斉にスタートしています。地域クラブや民間クラブ、地域活動等、学びや体験の場が多様化し地域へ舞台が移行しても、中学生達が楽しみながら力強く成長していけるよう、川西地域をあげての皆様の応援と御協力をお願いして筆を置くこととします。



癒しの音色に包まれたセカンドライフ ～楽器ハンドパンに魅了されて～

◎古谷 淳子(今津ヶ丘)

インターネットで和太鼓のことを調べていた時、どら焼きのような形をした珍しい金属楽器があることを偶然知りました。今から20年近くも前のことです。

そんな昔の出来事があるきっかけで思い出し、思い立ってその珍しい楽器『ハンドパン』を購入したのは4年前でした。



以来、独学で奏法を研究し、ハンドパンの魅力が引き立つ演奏方法を探りながら、様々なジャンルの曲を演奏することに挑戦しています。

ハンドパンを購入して1年後、レパートリーがようやく10曲程度になった時から、演奏活動を開始。人前で演奏することで自身のレベルアップを目指したいと思ったからです。活動を始めてまだ3年足らずですが、年間数回の依頼を受けて市内各所で演奏したり、自分で応募してライブ出演したりしています。

昨年からは、スクリーンに映像を映しながら演奏することで、楽器や曲の魅力がより聴き手に伝わるよう新たな取組も始めました。

お陰で私のセカンドライフは、常に癒しの音色に包まれており、ハンドパンとの出会いは、私に新たな挑戦の場となるセカンドステージを与えてくれます。

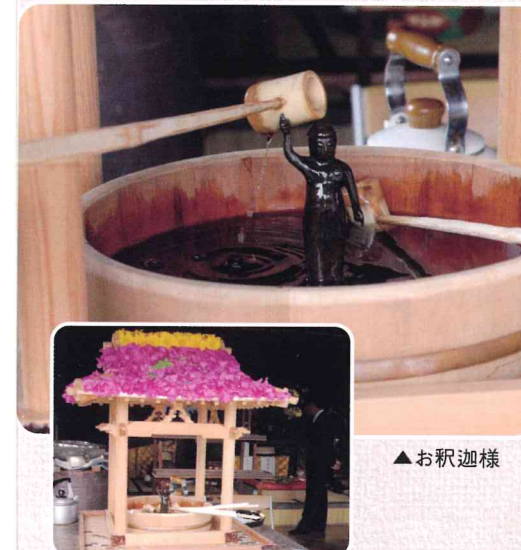


お釈迦様のお祭り

◎徳地 幸枝(岡屋)

前庭につつじの花が咲いたら嘉川お釈迦様のお祭りがある。私は幼いころ楽しみに待っていた。興進小学校はお祭りの5月8日当日は、午前中授業で終わる。担任の伊藤先生はニコニコ顔で「午後はみんなお釈迦様のお祭りにお参り下さい」と言われた。

ルンルン気分で下校し、岡屋地区のすみちゃんと二人で歩いた。こんなに歩くことがないので遠くまで来たように思った。足が疲れて「えらいね。」と何回も言った私。お小遣い100円をしっかりとって、嘉川小学校の前に着いた時、前に進めない位の人の波に驚き、今疲れていた私の足が、ピンと伸びた気がした。



▲お釈迦様

道路の両側には露店がずらりと並び、競っていた。色鮮やかなニッケ水・綿菓子・風船・ビー玉・お面・イカ焼き・饅頭等々たくさん商品が並べられていた。パワー・ジュ・ジュ、ピチピチ、どんとどんと太鼓の音、子どもたちの歓声が賑やかに響いた。

私が一番印象に残っているのは、「のぞき」である。高い台の上におじさんが登って歌を歌っていた。私が丸いのぞき窓から恐る恐る中を見ると、歌と絵はタケオとナミコの悲しい物語だった。突然「パタン」の音とともに、戸板ほどの広さの絵が変わったのだ。歌は続いて、3回画面が変わって終了。私は興奮状態で立ち竦んでいた。

人の波の中、私たちは何を買い取るか、キョロキョロして探した。やっぱり女の子の遊びに使う塗り絵・千代紙・ゆびわ・髪飾りをウキウキして買い、満足した。もう70年前のお釈迦様のお祭り風景が蘇る。懐かしい私の心の宝物。

人と出会い繋がる喜び

◎松永 眞弓(上中野)

私は、下関生まれで就職を機に山口市に住み、そして、結婚が縁で嘉川に住むこととなりました。

はじめは、地域のことが全くわからず、同じ班の方との交流しかありませんでした。

子どもが生まれ、学校や子ども会の役員を務め、たくさんの方と出会うことによって、地域のことが少しずつわかってきました。子どもが地域の少年サッカーに入ってから、子育ての悩みを相談することもでき、やさしくアドバイスしてもらいなど助けていただきました。親御さんとの交流をとおして、嘉川地区の一員になれたように思います。

昨年、母が亡くなったとき、浄福寺さんのご縁を結ぶことができ、心温まる葬儀をいとなむことができました。ご住職は、嘉川の上中野地区のいきいきサロンで演奏会をされたということで、母のことを覚えていてくださいました。こんな縁もあるのだと、人の出会いの不思議さと繋がりに感謝しました。今年、一周忌を終え、母もきっと喜んでくれていることでしょう。

嘉川に住んで40年あまり。たくさんの方と出会い、触れ合うことによって、私も嘉川の住人になれたようです。私にとって第二のふるさとになりました。人よし嘉川・住みよい嘉川になれるように、私も人との出会い繋がりを大切にしていきたいと思っています。

